

映文連アワード2015ソーシャル・コミュニケーション部門優秀賞

法務省と全国人権擁護委員連合会は、中学生が豊かな人権感覚を身につけることを目的として、昭和56年度から「全国中学生人権作文コンテスト」を実施している。このビデオでは、受賞作の中から5編の作文を朗読して、イラストやアニメーションで紹介する。



中学生が身のまわりに起きたいろいろな出来事や自分の体験から、「人権ってどんなことなのか」を考えた。

「人が生きるうえで大事なものは？」5つの扉から中学生が作文の中で呟いている言葉にあなたも耳を傾けてください。それが、人権について考える一歩になっていくでしょう。

- 『本当の国際化とは』 日本に住む外国人と出会って思ったこと。
(7分30秒 イラスト 青木 純)
- 『電車内に咲いた、笑顔の花』 勇気を出した行動で予想外の出来事が……。 (7分30秒 アニメーション 平山志保)
- 『立ち止まる』 人と話すとき一度立ち止まろう、と思った中学生がいた。 (8分 イラスト 広瀬 弦)
- 『NO！と言える強い心をもつ〜ハンセン病問題から学んだこと〜』
(8分30秒 アニメーション ミスミヨシコ)
- 『絆』 ラグビーのチームメイト、右手が不自由な健太、彼が教えてくれたのは……。 (6分30秒 アニメーション 荒井知恵)

『全国中学生人権作文コンテスト』中央大会審査員長・落合恵子からのメッセージも収録。(5分)

アニメーション
ビデオ
カラー／全41分
日本語版(字幕・副音声有)

■企画
法務省人権擁護局
(公財)人権教育啓発
推進センター

スタッフ

- 製作
栗田真紗子
山田三枝子
- 脚本・演出
井手洋子
- 演出助手
細矢知里
- 撮影
今野聖輝
- 録音
河崎宏一
- イラスト
青木 純
広瀬 弦
- アニメーション
平山志保
ミスミヨシコ
荒井知恵
- 編集
井手洋子
細矢知里
- 音楽
芳賀一之
- 効果
黒澤道雄
- 録音スタジオ
東京テレビセンター
- 字幕・副音声
メディア・アクセス・
サポートセンター
- 朗読
濱田龍臣
大和田南那(AKB48)
- 出演(メッセージ)
落合恵子